

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム らくらく

作成日: 令和 5 年 3 月 22 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	災害対策	年2回、避難訓練を実施しているが、特に、夜勤者一人で各ユニットの利用者を安全に避難誘導する訓練を重点的に行っていく。	夜勤に入る職員を中心に、夜間帯の避難誘導の手順や近くに住む職員や地域住民への協力要請の手順等、具体的な協力体制を確認し、シミュレーションを重ね、いざという時に慌てないように取り組んでいく。	12ヶ月
2	3	事業所の力を活かした地域貢献	現在は、コロナ禍の中、地域との交流も難しい状況であるが、コロナ収束後には、事業所の持つスキルやノウハウを地域に還元し、認知症やグループホームの啓発活動を行っていく。	コロナ収束後には、運営推進会議の委員の協力を得て、介護相談事業や体験学習、ボランティアの受け入れ、地域との防災協力体制等、事業所の力を活かした地域貢献に積極的に取り組み、今以上の開かれたホームを目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。